

人権だより

しんでん

第58号
令和7年3月1日

倉敷市新田中学校区
人権学習推進委員会
事務局 新田公民館
TEL (086)427-6354

倉敷支援学校の活動

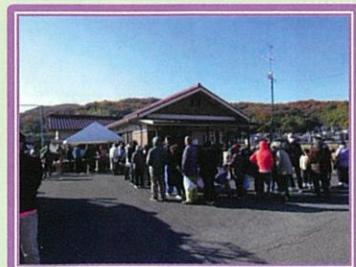
販売学習(高等部)

12月18日（水）、倉敷支援学校高等部の生徒による販売学習が行われました。ロビーには、高等部作業班の生徒が製作したクッキー やカレンダー、デニム製品の他、大切に育てた野菜などが並び、多くの方に購入していただきました。大きな大根をゲットしたお客様が大変喜んで、販売に携わった生徒も冬の温かい日差しに照らされてニコニコしているのが印象的でした。



粒江ふれあいフェア part① 「餅つき・お飾り作り」

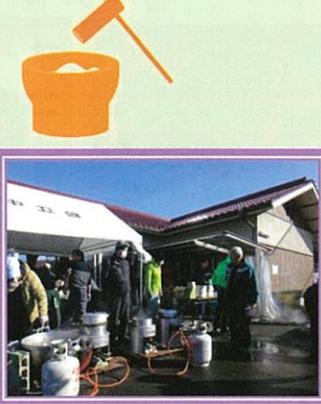
12月15日（日）、倉敷市粒浦の中州集会所で、餅つき、藁によるお飾り作り・販売がありました。寒い中ではありましたが、温かいうどんの販売もあり、地域の皆様で大変賑わっていました。



お飾り販売



餅つき



研修視察 ひげんいん ～笠岡市児童養護施設「悲眼院」～

10月5日（土）、推進委員8名と事務局員等3名の11名で、笠岡市にある児童養護施設「悲眼院」へ研修視察に行きました。

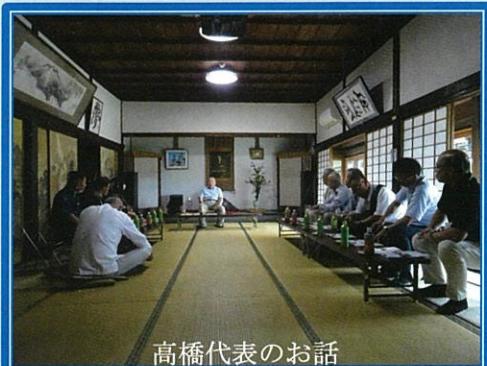
悲眼院は1950年に児童養護施設として開設されて以来、児童福祉法に基づき、様々な理由で親権者の元などで養育することが困難になつた児童を親権者に代わつて養育し、自立支援を行う全国でも類を見ない個人立の児童養護施設です。

親の孤立や貧困、子どもの発達障害など、虐待の背景が多様化している今日、保護者のいない子ども、虐待を受けた子どもを受ける悲眼院を訪れ、実情を聞くなど実際に体感することで、地域社会が子育て家庭を気にかけ、つながりを持つことの大切さを学びました。

また、笠岡市にある竹喬美術館を訪れ、笠岡市に生まれ文化勲章を受章した小野竹喬の作品を鑑賞し、秋のひとときを楽しみました。



悲眼院にて



高橋代表のお話

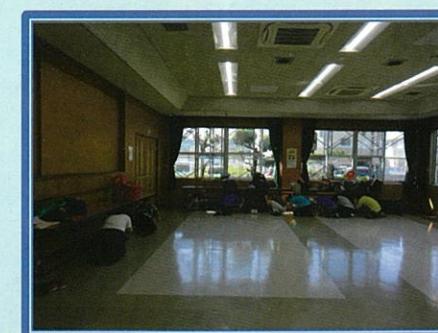
【参加者の感想～悲眼院を訪れて～】

- ニュースで悲しい児童虐待の事件を聞きます。児童虐待が防げるよう社会全体で考えていくべきだと思います。
- 個々の子どもに対応している悲眼院の運営は大変だと思います。DV被害を受けている子どもたちのシェルターであり家庭として、活動を継続していただきたい。
- 代表のお話を聞き、支援の必要な子どもが多いと分かり、何か出来ればなと考えさせられました。
- 悲眼院の視察は、民生委員、保護司活動の中にも相通じるものがあり、日頃の生活環境の重要性を感じました。悲眼院でのお話は、子どもたちの顔が目に浮かびました。
- 幼い子どもたちが一番愛すべく親により虐待を受けるということは想像を絶するものだと思います。

この施設で暮らしている子どもたちのこれから的人生が幸せになることを願うばかりです。

地震対応訓練

9月26日（木）、倉敷市一斉地震対応訓練に合わせて、公民館でも活動中のグループ「3B体操リラの会」8名の方が、南海トラフ地震の発生を想定したシェイクアウト訓練を実施しました。模擬の地震速報の知らせを聞くと、素早く活動を止め机の下にもぐり身をかがめるなど、地震の際の安全確保行動を身につけました。また、地震が収まったあと、プラスワン訓練として、地震に伴う火災の発生を想定し、屋外への避難訓練も同時に実施しました。



シェイクアウト訓練



かくれる



避難訓練

【地震対応訓練とは】

「その時にいる場所」で地震が発生したと想定して、地震の際の安全確保行動の1-2-3「まず低く、頭を守り、動かない」を身につける訓練です。

第1回人権教育講演会

9月8日(日)

「幸せな社会を子どもたちに」

～子ども食堂で見つけた本当の豊かさ～

みんなのお家「ハルハウス」

代表 井上 正貴 氏



みんなのお家「ハルハウス」代表 井上正貴氏をお招きして、第1回人権教育講演会を開催しました。水島で始まった子ども食堂の活動や、コロナ禍に誕生した、みんなのお家「ハルハウス」の活動を通して、困窮した家庭と向き合うことで見つけた本当の豊かさとは。

活動を続ける中で得られた気付きや体験をお話しいただきました。

【参加者の感想】

- ・親を頼れない子どもが駆け込む場所、ここに行けば大丈夫と思える場所があることは大事で、たくさん増えてほしい。
- ・ハルハウスがあることで救われる人がいる。つながりから生きる希望が持てる。先生の活動、生き方に感動しました。
- ・まだ知らない支援の場があって、子どもたちが安心できる場所があるのを知りました。子どもの豊かさ、幸せ、安心をこれからも考えながら、子どもたちと接していくこうと思います。
- ・交流を基にした支援、とても難しいことですが、それを実践していることは素晴らしいことだと思いました。
- ・子ども食堂のことは見聞きしていたが、知らない事の方が多い。何か自分に出来る事があればと思いました。

ふれあい・交流活動

新田中学校区の夏祭りが開催されました。屋台や盆踊り、和太鼓演奏、フラダンス披露、また花火の打上げなどもあり、友人同士や家族連れなど、暑さに負けず多くの人が賑わっていました。



新田納涼夏祭り

8月3日(土)



つぶえ夏祭り

8月11日(日)



東高ふるさと祭り

8月17日(土)



令和6年度「人権啓発グッズ」

人権学習推進委員会では、人権学習推進事業や人権教育推進事業並びに新田中学校区への人権啓発をPRするとともに、人権に対する市民の皆様への愛着や親しみを高めるため、人権啓発グッズを作製しています。

令和6年度は、メモ帳を作製し、人権教育講演会等で受講者の方に配布させていただきました。



人権だより「しんでん」は、地域のみなさまのご協力により配布されています。

PTA人権教育講演会

葦高小学校 6月15日(土)



「よさを認める幸せづくり」

岡山理科大学教職支援センター
元倉敷市立西中学校長

松本 一郎 氏

講演会の感想

各講演会とも校長先生をはじめ、学区の推進委員の方や、児童、生徒、保護者など、多くの方が参加され、真剣に聞き入っていました。また、受付では、人権啓発のぼり旗や、人権啓発ポケットティッシュの配布などを行い、人権啓発に努めていただきました。



粒江小学校 6月15日(土)



「親育ち応援学習プログラム
『新しい時代の子育て!』～今注目の「非認知能力」とは?～」

親育ち応援学習プログラム
秦 匠子 氏、森本 幹 氏

倉敷支援学校 9月13日(金)



「デジタル時代の人権を考えよう～ネット・スマホとの付き合い方～」

株式会社 Compallet 代表
桐野 志摩美 氏

倉敷西小学校 6月22日(土)



「物だけじゃない!～『景色』も『思考』も『未来』も変わる～
お片付けのお話
片付け育成コンサルタント
しらが かずこ 氏

新田中学校 10月16日(水)



インターネットの安心安全な使い方
NTTビジネスソリューションズ(株)

木村 豊 氏、楫 浩 氏

倉敷支援学校 プランター贈呈



7月3日(水)、倉敷支援学校
からプランター2鉢の贈呈を受けました。毎年、倉敷支援学校の生徒が育てた花が贈呈されます。

地区花いっぱい事業



新田中学校区人権学習推進委員会では、毎年3回、「花いっぱい事業」として、新田公民館と新田北分館に花を植えています。春はペチュニア、夏はポーチュラカ、秋はパンジーをそれぞれ150株ずつ植えました。

新田公民館にお越しの際は、ぜひご覧ください。